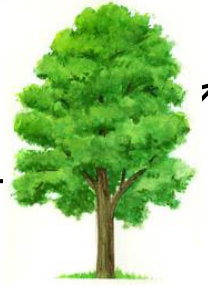




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和3年6月1日(火) No.3 文責 校長 島田 二郎



6月をどう過ごすか？

6月になりました。6月は『水無月』とも言われますが、『水が無い月』ではなく、『水の月』という説が有力だそうです。田んぼに水を張る『水張月(みずはりづき)』と言われることもあるそうです。名前からわかるように6月は梅雨の時期であり、これからも雨の降るジメジメした日があったり、大雨警報・注意報に気を付けたりする時期となります。



さて、そのような6月ですが、この6月をどう過ごすか？を述べたいと思います。

今年の6月1日を振り返って調べてみると、学校は、6月1日から昼食と午後の授業が始まりました。授業もこの日から50分授業となりました。今年の5月31日までは、午前中4時間、45分授業でした。ですので、今年の6月1日によく「平常に戻った」と言えるかもしれません。

今年は4月から学校が始まり、はや2か月が経ちました。新型コロナウイルスの影響は依然衰えていませんが、学校は感染対策をしながら、教育活動を実施しているところです。

新しく出会った友達や先生についても、その人なりの言動や個性を知り、だんだん距離が近くなってきた頃です。学校は多くの出会いをとおして多様な価値観を知るところでもあります。この出会いによって社会性を学ぶ場となります。友達と親しくなった分、ちょっとしたトラブルや誤解等もあるかもしれませんが、そのような経験によってさらに人として成長してもらいたいと思います。

行事としては、中間考査や選手激励会、中体連大会、マーチングコンテストがあります。勉強面でも部活動の面でもひとがんばりが必要な月となります。特に今年度初の定期考査である中間考査は6月18日(金)に実施予定です。ですからこのたよりが出てから約3週間弱でテストを迎えます。また、中体連は3年生にとっては最後の大会となります。部活動の練習を十分に行うことはできませんでしたが、悔いのないよう、全力を出し切ってもらいたいと思います。

そこで、考査や大会等を迎えるにあたっての心構えとなる文を紹介したいと思います。

『稽古は舞台のように 舞台は稽古のように』

これは昔、何かで読んだ本に載っていたものです。似たような表現で別の文を見たこともあります。およそのこの文の意味は、「日々の稽古は舞台本番を意識してする。本番の舞台では、稽古と同様のことをする」ということでしょうか。日々の稽古を大事にし、集中して丁寧に行えば、舞台本番を迎えても、緊張することなく稽古どおりにいつもの力を発揮できるでしょう。



これを学校生活に置き換えて考えてみましょう。日頃から勉強も部活動もテストや大会当日を意識して取り組んでいれば、力がつきます。しかし、「どうせ練習だから」とか「テストはまだ先だから」といった意識で日々の授業や部活動をしては、十分な力がつきません。やはり日々の積み重ねはとても重要です。わかってはいるものの実行することは難しいと思います。しかし、意識をすることで行動は変わります。「日々鍛錬あるのみ」と自分に言い聞かせ、毎日を大切にできると良いかと思います。それぞれが出会う様々な舞台をめざし、一日一日を大事にしていきましょう。

